

第2回 新宿区協働支援会議次第

令和4年5月9日（月）午後2時
新宿区役所本庁舎6階第2委員会室
（オンライン開催）

1 開 会

2 議 事

- （1） 令和4年度一般事業助成対象団体の選考について
 - ① 一次評価（書類評価）の通過基準について
 - ② 二次評価（公開プレゼンテーション）の実施方法
 - ③ 二次評価（公開プレゼンテーション）の質問方法
- （2） 一次評価（書類評価）にあたっての事前協議
- （3） その他

3 次回開催について

・第3回協働支援会議（オンライン開催予定）

令和4年5月31日（火）午後2時～午後4時 本庁舎6階第4委員会室

4 閉 会

配付資料

- [資料1] 一般事業助成の評価基準等について
- [資料2] 令和4年度一般事業助成・プレゼンテーション実施について（案）
- [資料3] 令和4年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票
（参考：令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票）

事前配布資料

- 令和4年度一般事業助成申請書

一般事業助成の評価基準等について

1 評価基準

番号	評価基準	参考とする項目	評価点 (70点満点)
1	区民ニーズを的確に把握し、地域課題や社会的課題を捉えた事業となっているか	計画書「②地域課題・社会的課題」	10点
2	課題解決の手法が適切で、効果が期待できるものとなっているか	計画書「③活動内容・⑤期待される効果④」	10点
3	区民の社会貢献活動への理解を深め、参加の契機となり得る事業となっているか	計画書「⑤期待される効果⑦」	5点
4	事業計画及びスケジュールが実現可能で、妥当なものとなっているか	計画書「③活動内容」	10点
5	実行体制（人員体制や安全対策）は適切であるか	計画書「③活動内容」、「④安全対策等」	5点
6	事業の継続性や発展性が期待できるか	計画書「⑦今後の展望」	5点
7	団体の先駆性や専門性を活かした事業となっているか	計画書「⑥先駆性・専門性」	5点
8	申請した企画内容と照らして経費見積りが適切であり、収入における資金計画も適切であるか	収支予算書 内訳	10点
9	運営の公開性及び透明性に優れているか	団体のHPやパンフレット等の日常の活動状況から把握	5点
10	団体の運営状況が健全であり、多様な手段を用いて資金を確保するなど経営の安定に努めているか	申請書「⑦今後の展開」、団体の決算書や予算書	5点
11	過去に本助成を受けた事業を申請する場合、実施状況が適切であるか、その効果が発揮された事業であるか	過去の申請書や実績報告	－5点

2 評価方法

評 価	A	B	C	D	E
	10点 (5点)	8点 (4点)	6点 (3点)	2点 (1点)	0点
目 安	大いに認められる	認められる	どちらかといえ ば認められる	どちらかといえ ば認められない	認められない

() 内は5点の項目

3 通過基準

一次評価 通過基準	各委員合計点数が総得点（70点満点×座長を除く7名）の5割以上
二次評価 通過基準	一次評価及び二次評価の合計得点の6割以上

3 プレゼンテーションの実施内容

3

4 プレゼンテーション資料の提出

パワーポイント等を利用する場合は、データ（メール送付の場合は3MB以内）を
6月20日（月）午前中までに事務局までお送りください。

なお、期日に遅れたパワーポイント等のデータはプレゼンテーションの際、利用できません。

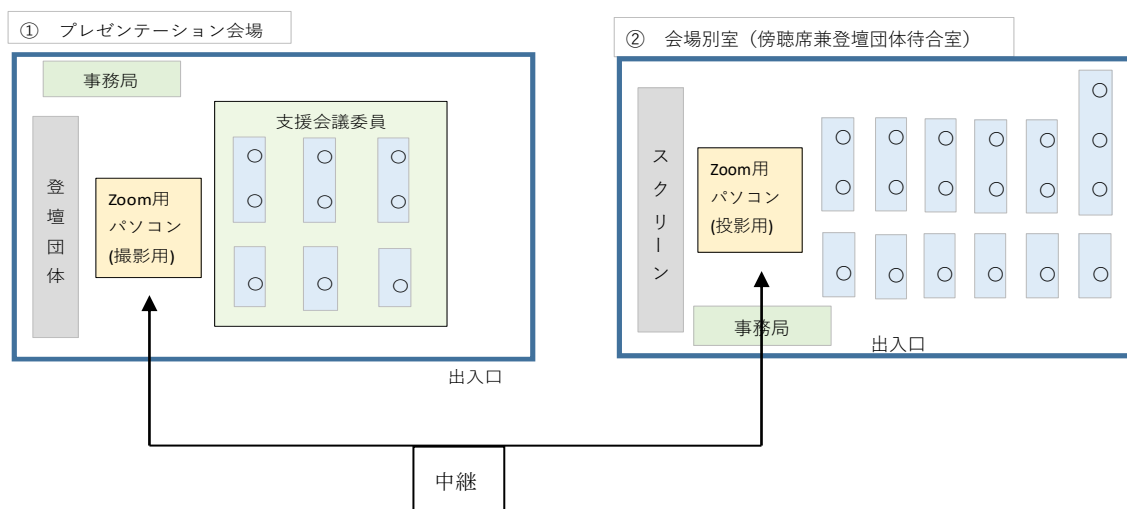
5 その他

評価資料には、申請時にご提出頂いた全ての書類を添付しています（団体活動資料等の参考資料部分は、事務局で内容を精査して適量を添付しています）。このため、評価委員からの質問内容は、これら全ての添付資料の内容が含まれます。

※当日のスケジュールは以下をご覧ください

【当日のスケジュール】（仮）4 団体通過の場合	
13 時 20 分	協働支援会議委員・事前説明
13 時 30 分	開会（課長挨拶）
13 時 35 分	座長挨拶・委員紹介
13 時 45 分	プレゼンテーション実施要領説明
14 時 00 分	プレゼンテーション開始（4 団体） プレゼンテーション 10 分・代表質問 15 分・団体入替 10 分 計 2 時間 10 分
16 時 10 分	プレゼンテーション終了・閉会
16 時 30 分	協働支援会議開始（集計結果及び助成団体の決定）
17 時 00 分	協働支援会議閉会

5 プレゼンテーション会場・会場別室（傍聴席兼登壇団体待合室）※イメージ図



令和4年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順		委員名 ○○ ○○
申請番号		
団体名		
No.	質問事項	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順		3	
申請番号		2	
団体名			CWS Japan (シーダブリューエスジャパン)
No.	質問者	区分	質問事項
1	竹井	地域課題・社会的課題	対象が大久保地区に偏っていると思う。他の地区の外国人の方にはどのように参加をいただき公平性を保つのでしょうか。(p.48-49)
	松井	継続性・発展性	＜継続の展望について＞大久保地区以外での展開も想定していますか。想定している場合は、エリア候補も教えてください。(p.52)
2	伊藤	地域課題・社会的課題	「大規模災害時における、外国人住民の脆弱性と想定されるニーズについて、新宿区を対象に調査を実施」とありますが、調査対象は何人ですか。(p.49)
3	関口	手法・事業効果	説明会勉強会の開催場所に教会が含まれていますが、他宗教信仰者の参加の妨げにもなり得ると思いますが、何か積極的な理由がありますか。(p.50)
4	関口	手法・事業効果	コロナ禍でのバーチャルツアーやオンライン対応等は適切な選択だと思いますが、対象地域・住民へのリーチ・広報等はより困難になります。何か対策を考えていますか。(p.49-50)
5	松井	手法・事業効果	＜防災説明会について＞地域リーダーやキーパーソンの選定方法と連携が既にとれているか教えてください。(p.50)
	伊藤	区民理解・参加契機	区民の参加を得るためには既存の市民組織の協力が不可欠と考えておられますが、既に市民団体等への働きかけされておられるのでしょうか。(p.51)
6	竹井	手法・事業効果	講師ボランティアの方は、どの国の言語で講義を実施するのでしょうか。(p.49-50)
	大野	手法・事業効果	ツアーに参加する外国人への説明言語は何ですか。(p.49-50)
7	伊藤	手法・事業効果	多文化共生×防災まち歩きバーチャルツアーについて 1日で、①大久保地区の災害リスク点検と把握②防災のための社会資源探しを計画されておりますが、対象者が延べ10名で十分な情報を得られるのでしょうか。(p.49-50)
	平野	計画・スケジュール	多文化共生×防災まち歩きバーチャルツアー(仮)の参加予定人数ですが、延べ10人は本事業を推進する上で適切な参加人数なのでしょうか。(p.49)
8	山田	手法・事業効果	防災説明会・勉強会についてですが、具体的にはどのようなテーマを検討されていますか。また、過去に実施された具体例がありましたら、併せて教えてください。(p.50)

令和3年度一般事業助成・プレゼンテーション質問票

プレゼン順	3		
申請番号	2		
団体名			CWS Japan (シーダブリューエスジャパン)
No.	質問者	区分	質問事項
9	松井	計画・スケジュール	<バーチャルツアーについて>実施予定の時間帯の候補を理由と共に教えてください。(p.49-50)
10	伊藤	計画・スケジュール	防災会議・勉強会について 計画では参加予定者は延べ360名となっておりますが、会場参加者/オンライン参加者の内訳はどのようになっていますか。またそれぞれの参加者は個人としては何人ですか。(p.50)
11	伊藤	先駆性・専門性	外国人の防災意識向上に対して申請団体が日常行っている啓蒙活動についてお教えてください。(p.52)
	大野	先駆性・専門性	事業計画書⑧で「災害時の外国人脆弱層への支援の仕組みを構築すべく新たな活動を行っている」とあるが、どのような活動ですか。(p.52)
12	松井	資金計画・見積り	<通訳について>具体的な立ち位置(イベント中の関わり方)と謝礼が14日8時間計算の詳細を教えてください。(p.56)
13	則竹	資金計画・見積り	交通費について、民間企業でもテレワークへの取組みを要請されている中、10回もの往来は妥当でしょうか。バーチャルツアーの現地視察はやむを得ないとしても、打合せをオンラインとしない理由を教えてください。(p.56)
14	則竹	資金計画・見積り	事業収入について、予算計上額は0円となっておりますが、今後この事業を継続させるための資金確保はどのようにお考えですか。(参加料の負担を課すことで逆に参加意識向上の効果を期待)(p.56)
	伊藤	資金確保・経営状況	事業収益の大半が寄付金・助成金なのですが、自主事業を今後どのように考えておられますか。(p.56)
15	山田	その他	新宿区では、地域防災計画を定めています。今回の事業は、この地域防災計画を踏まえた内容になるのでしょうか。